

令和7年度（2025年度）

管理事業名	千里ニュータウン情報館事業				総合計画 の体系	大綱 6 都市形成				
						政策 1	みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり			
						施策 1	土地利用誘導と良好な景観形成			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	29	千里ニュータウンプラザ費
部局名	都市計画部	予算執行 所属		計画調整室						
事業の目的と概要										
【目的】 日本で初めて本格的に建設された千里ニュータウンのまちづくり推進に資するものとして、その歴史や生活文化に関する資料の展示及び情報の発信並びに交換を行う。また情報館を核として、地域住民その他関心を持つ多様な主体の相互交流及び連携を促進し、千里ニュータウンにおけるコミュニティの形成を図る。										
【概要】 千里ニュータウン情報館展示等事業（資料の収集、展示、情報発信により、地域住民等多様な主体の相互交流、連携を図る。） 千里ニュータウンプラザ管理事業（情報館）（プラザ内の千里ニュータウン情報館の維持管理を行う。）										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	指 標 の 定 義
入館者数	人	32,336	48,783	58,139	千里ニュータウン情報館の入館者数
企画展示等の開催日数	日	60	59	120	市主催企画展示等の開催日数
ポータルサイトの閲覧者数	人	45,214	47,269	40,107	千里ニュータウン情報館ポータルサイトの閲覧者数

II 活動実績・成果

【成果指標1】入館者数 ・入館者数58,139人（前年度比：9,356人の増） ・積極的な企画展示の開催と内容の工夫をした結果、入館者数の増加につながった。 千里ニュータウンの情報を発信し関心を高め、地域住民等の交流や連携を促進するコミュニティの形成に寄与した。 【成果指標2】企画展示等の開催日数 ・開催日数120日（前年度比：61日の増） ・情報館、千里ニュータウンプラザ大ホール及びエントランスホールでの企画展等の開催日数。 ・「千里ニュータウンとEXPO'70～懐かしくて新しい万博の記憶～」等、時勢にあわせた企画を実施し、情報館の活性化に努めた。 【成果指標3】ポータルサイトの閲覧者数 ・地域住民のみならず広く千里ニュータウンの情報を発信する手法としてポータルサイトを活用した。このサイトでは千里ニュータウンのまちの成り立ちや情報館及び地域に関するイベントを発信した。 ・情報館の企画展示等に関する情報を発信することで、千里ニュータウンへの興味を持つ機会を広め、閲覧者が情報館に来るための動機作りを行い、情報館への入館を促した。 【財務情報に基づいた評価】 ・経常費用の主なものについては、給与関係費が最も大きく、25,699千円で支出の約66%を占めている。次いで物件費が9,460千円で支出の約24%を占めている。		
---	--	--

III 課題と今後の取組

・千里ニュータウンでは、公的賃貸住宅の建替えとともに活用 地での分譲マンションの建設により、新たな住民も増加して いる。 入館者の増加は、千里ニュータウンへの関心を持つ地域住民 等の交流や連携を促進するコミュニティの形成につながる ため、今後とも入館者の増加につながる取組の充実に努め る。 ・ポータルサイトの活用は、千里ニュータウンへ興味を持ち、 情報館への入館や地域のイベントへ参加するきっかけとなる ため、新しい情報の更新や内容の充実に努める。	・情報館の役割を十分に発揮できるよう、手法や内容を検討し、 適正なコストでの運営を行う。
--	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位:千円)

勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A
流動資産				流動負債	9,214	9,278	63
現金預金	-	-	-	地方債	7	7	-
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,569	1,632	63
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	7,638	7,638	-
固定資産				固定負債	60,114	52,189	△7,925
有形固定資産	37,360	36,347	△1,012	地方債	22	15	△7
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	37,360	36,347	△1,012	退職手当引当金	14,264	13,985	△280
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	45,828	38,190	△7,638
無形固定資産	38	38	-	負債の部合計	69,329	61,467	△7,862
有形固定資産	-	-	-	純資産	△31,931	△25,082	6,849
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	37,398	36,385	△1,012	純資産の部合計	△31,931	△25,082	6,849
				負債及び純資産の部合計	37,398	36,385	△1,012

◆行政コスト計算書【PL】

(単位:千円)

勘定科目	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	9	12	16	4
経常収入 小計(a)	9	12	16	4
経常費用				
給与関係費	22,981	24,609	25,699	1,090
物件費	8,028	7,304	9,460	2,156
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	4	4	4	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,012	1,012	1,012	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,697	1,569	1,632	63
退職手当引当金繰入額	△15,826	938	281	△16,764
支払利息	1,068	944	822	△122
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	18,965	36,381	38,911	2,530
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△18,955	△36,368	△38,895	△2,527
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△18,955	△36,368	△38,895	△2,527
一般財源充当額	43,693	43,351	45,744	2,393
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	24,738	6,983	6,849	△134

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位:千円)

区分	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	9	12	16	4
行政サービス活動支出	36,057	35,718	38,115	2,397
行政サービス活動収支差額	△36,048	△35,706	△38,099	△2,393
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	7,645	7,645	7,645	-
財務活動収支差額	△7,645	△7,645	△7,645	-
収支差額 合計	△43,693	△43,351	△45,744	△2,393
一般財源充当額	43,693	43,351	45,744	2,393
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特長的な事項

勘定科目等	特長的な事項
【BS】建物・工作物	千里ニュータウン情報館の建物等減価償却による減 △1,012千円
【BS】その他固定負債	千里ニュータウン情報館のPFI債務返済による債務残高の減 △7,638千円
【PL】物件費	ソフトウェアの更新やPFIサービス購入料の増加に伴う増 2,156千円
【CF】財務活動支出	千里ニュータウン情報館に係るPFI債務返済及び公共施設償還 7,645千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市民一人	コスト 50 円 実績 382,336 人	コスト 95 円 実績 384,302 人	コスト 101 円 実績 385,999 人
入館者一人	コスト 586 円 実績 32,336 人	コスト 746 円 実績 48,783 人	コスト 669 円 実績 58,139 人
分析内容	物件費等の増加により市民一人当たりのコストは増加したが、入館者が増加したことにより、入館者一人当たりのコストは減少した。		

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	19,144	560	2.10
会計年度任用等	8,468		
特別職非常勤	-		
合計	27,613		

分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		23.7	25.7	27.7	2.0
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		37.7	72.4	77.4	5.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	100.0	0.0